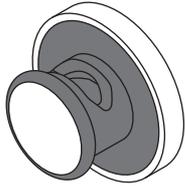


※この説明書は、必ず保管してください。

取付・取扱説明書

郵便受箱/錠前

ラッチロック



このたびは、ラッチロック(タジマメールボックス 専用錠前)をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただきラッチロックの機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

●安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。



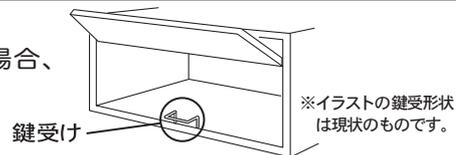
注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

錠前交換の前に郵便受けの鍵受け形状をご確認ください



製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前への交換ができません!!



◇旧タイプの鍵受け形状一覧

(※1982~1992 製造の旧タイプ)

MX-2	MX-3	MX-4	MX-5	MX-7	MX-8	MX-41

(上記以外の郵便受けには、旧タイプの鍵受けはありません。)

●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の製品名をご確認の上、ご連絡ください。/ 製品名: ラッチロック

サービスセンター フリーダイヤル 0120-090-630 受付時間/平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝祭日は休ませて頂きます)

■郵便受箱/錠前 保証書

1. 保証期間 納品日から2年間 (納品書は大切に保管してください)

2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

本製品は郵便受箱(タジマメールボックス)の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

(1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。

(2) 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。

(3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。

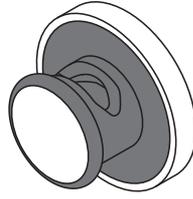
(4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。

(5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。(6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。

(7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。

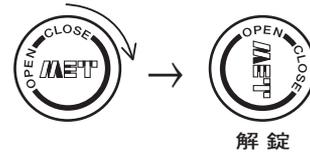
●本書は必ず保管してください。



■錠前の操作方法

○ あける

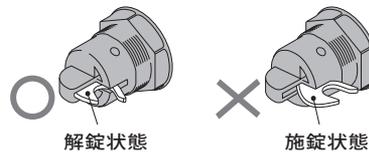
前面のつまみを右に回転させ、OPENが上の状態で引くと扉が開きます。



○ しめる

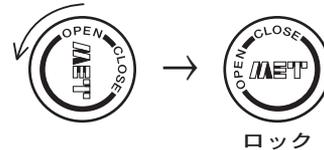
そのままOPENの状態で扉を閉めます。

(注) 鍵がかかる部分のラッチ(金属製)に触れてラッチが施錠状態になったまま扉を強く閉めると錠前が破損します。ラッチに触れてしまった場合はラッチを解錠状態に戻してください。



○ かける

つまみを左へ回転させると扉がロックされます。郵便物を取り出した後は常にCLOSEが上の状態にしておいてください。

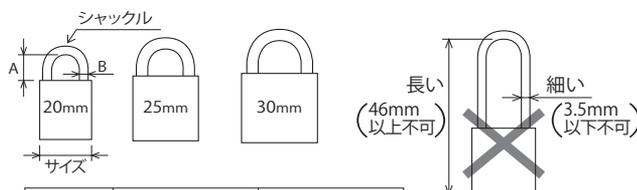


○ 施錠

CLOSEの状態でつまみに南京錠を通してかけると施錠できます。

■適応南京錠(別途)

市販されている20~30mmの南京錠をご使用ください。シャックル(丸棒)が長い又は細い南京錠は使用できません。施錠可能な場合でも南京錠を無理にねじるとラッチロックが破損する恐れがあります。



サイズ	20・25mm	30mm
寸法 A	10.5~15mm	13~16mm
寸法 B	3.5~4.5mm	5mm

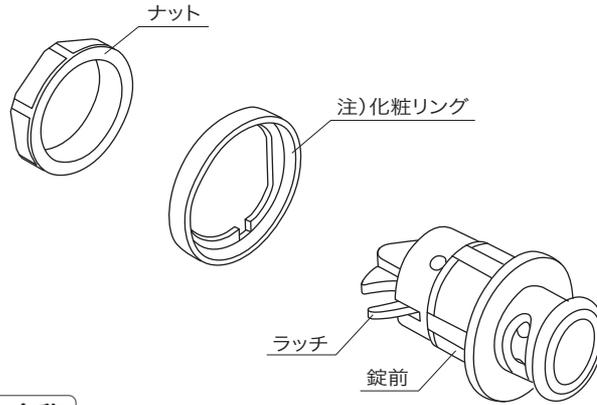


引き上げ扉の場合



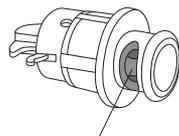
横開き扉の場合

防犯注意 ※扉の開閉は必ずOPENの状態で行い、CLOSEの状態でも無理に開閉させないでください。

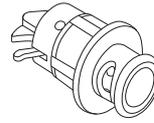


部品の名称

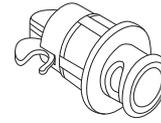
■取付方法



ツマミを回して
穴がふさがった状態が
解錠状態です

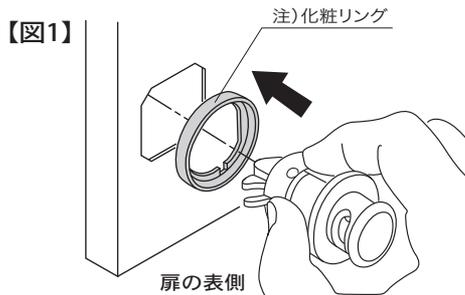


解錠状態

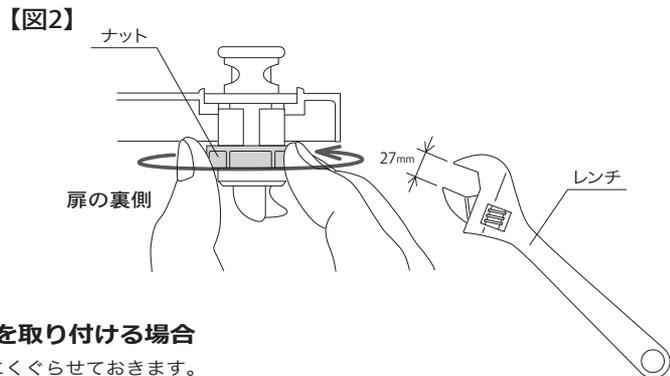


施錠状態

1. ラッチが戻った状態で、扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。（図1）
2. 錠前の後ろ側からナットをくぐらせます。
3. 錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。（図2）



【図1】



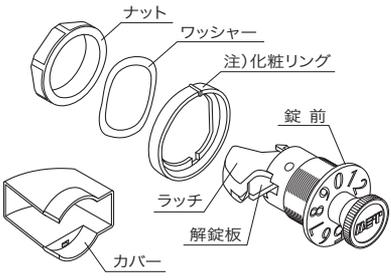
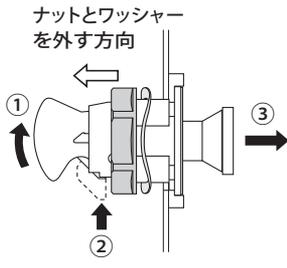
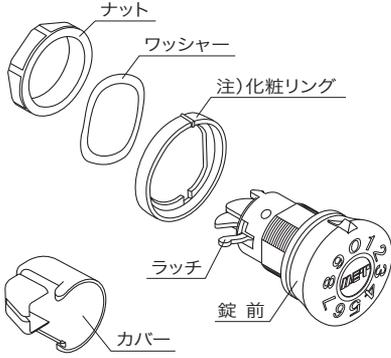
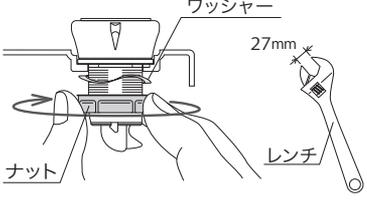
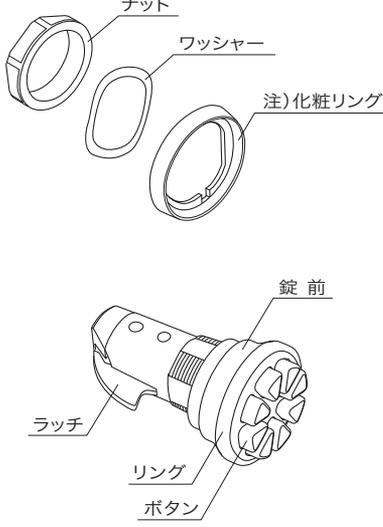
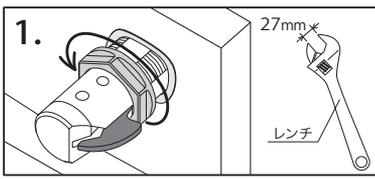
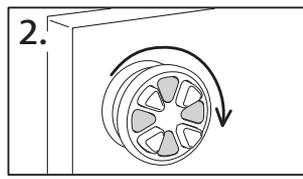
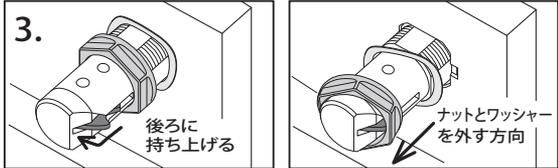
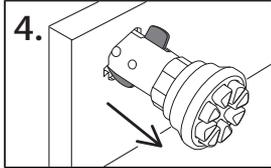
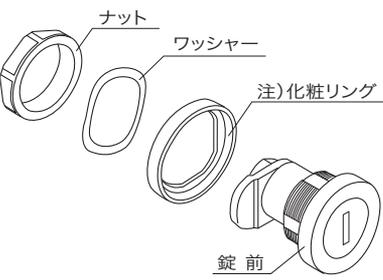
【図2】

注) 化粧リングを取り付ける場合

錠前を差し込む前にくぐらせておきます。
なお、お使いの郵便受けに化粧リングが
ついていない場合、化粧リングを付ける
必要はありません。

■各種錠前の取り外し方法

注) 2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。
 注) 機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠 前	錠 前	取り外し方
96ダイヤル錠		<ol style="list-style-type: none"> 1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。 2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。 3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。 
フリーダイヤル錠 セットダイヤル錠 myナンバー錠 ラッチロック	 <p>※カバー(myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。  <p>◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。</p>  <p>ラッチがおき上がっている状態 ラッチが戻っている状態</p>
デジタル錠 オートデジタル錠		<ol style="list-style-type: none"> 1.  レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。 2.  解錠ボタンを押してリングを回します ※リングを回したままの状態が解錠状態です。 3.  後ろに持ち上げる ナットとワッシャーを外す方向 ※解錠状態(リングを回した状態)のまま作業を行います。 ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。 4.  錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。 ※解錠状態(リングを回した状態)のまま作業を行います。
シリンダー錠		<ol style="list-style-type: none"> 1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。  <p>錠前の裏側 錠前の表側</p>

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.metalwork.co.jp>
 ホームページでは動画もご覧いただけます。